

【生命科学部】令和6年度 学部教学マネジメント報告書

3つのポリシーに基づいた学修者本位の教育の実現に向けて、学部教学マネジメントに関する以下の観点について各学部で計画・実行・検証し、次年度以降の改善に繋げることとする。

1. 学部における教学マネジメントの組織体制の変更点 ※計画書から変更があった場合

変更なし

2. 体系的かつ組織的な教育課程の編成・実施を支える各ツールの改善に向けた今年度の取り組みと取り組みを通して明らかになった課題

今年度の取り組み

① カリキュラムマップ

学部公開授業と学部 FD ワークショップを開催し、学部カリキュラムマップとアセスメントプランについての理解を深めた。

② シラバス

シラバスチェックを通じて、内容の精査を行い、結果を教員間で共有し、シラバス内容の改善を行った。

③ その他（カリキュラムツリー、ナンバリング等）

特になし。

課題

主要4科目「物質生物化学」「代謝生物化学」「分子生物学」「細胞生物学」の中で特に「代謝生物化学」の学部公開授業と学部 FD ワークショップを開催した。

主要4科目で各学科の特徴を理解しつつ、学部の基盤科目としての位置づけを検証する必要がある。

3. 学修成果・教育成果の把握・可視化の今年度の取り組みと取り組みを通して明らかになった課題

今年度の取り組み

主要4科目「物質生物化学」「代謝生物化学」「分子生物学」「細胞生物学」の成績分布から見た検証を行った。

課題

学部共通の基盤科目である「物質生物化学」「代謝生物化学」「分子生物学」「細胞生物学」の4科目は学部の中心となる学びであり、今後も各学科の特徴を理解しつつ、学部の基盤科目としての位置づけを検証する必要がある。

4. 授業科目の到達目標の達成状況および学生の資質・能力の修得状況の評価と明らかになった課題

評価（授業科目の到達目標の達成状況 および 学生の資質・能力の修得状況）

主要4科目「物質生物化学」「代謝生物化学」「分子生物学」「細胞生物学」の合格率から判断して、大部分の学生は「資質・能力」を十分に修得している。

課題

課題は、先端と産業2つの学科間の「資質・能力の修得」の違いをできるだけ少なくすることである。

アセスメントプランの取り組み

①結果

主要4科目「物質生物化学」「代謝生物化学」「分子生物学」「細胞生物学」の成績でアセスメントを行った。

②課題

学部共通の基盤科目である「物質生物化学」「代謝生物化学」「分子生物学」「細胞生物学」の4科目は学部の中心となる学びであり、今後も各学科の特徴を理解しつつ、学部の基盤科目としての位置づけを検証する必要がある。

※この内容は令和6年度以降、本学における教学マネジメントの一環として、本学HPへの掲載を検討します。